長建だより

発　行
長野建設産業労働組合
長建産業事業協同組合
長野市鶴賀字河原２９８－１
℡　０２６（２２６）３０３７
（発行責任者　中山　英治）
http://www.kenrou.net/
E-mail:chou-ken@mx2.avis.ne.jp

お願い

長建国保加入事業所が法人化される場合や、従業員が５名以上となる場合は該当日から**5日以内**に**適用除外申請**をしなければ長建国保を継続する事ができません。該当事業所は事前に組合にご相談下さい。

全国の仲間と予算要求

雨にも負けず多くの仲間と共に要求の実現を求めました。

全建総連 中央総決起集会
建設不況打開・生活危機突破・予算要求

７月８日、執行部三役３名、浅野賃金対策部長、猪俣女性の会会長、事務局１名が東京都永田町にある小坂憲次議員、小松裕議員の事務所を訪ずれ、長建国保を育成・強化するよう要請に伺いました。

あいにく小坂憲次参議院議員には公務の為、直接お会いする事はできませんでしたが、秘書からは「小坂議員本人も例年要請を受け、長建国保は重要な制度ということは理解している。対策を考えていきたい。」と理解を示していただく事ができました。小松裕衆議院議員には中山組合長より私たちの思いが込められた要請書が直接手渡されました。長建国保の健康づくり教室を通した健康維持管理の取り組みも共感していただき、「医療費削減をする為にも健康で生き生きした人生を送ってほしい。健康長寿社会形成基本法案を考えている。できる限りの協力をしていきたい。」と力強い言葉をいただきました。議員要請行動の後は東京日比谷公園大音楽堂にて全国の４８３２名の仲間と一緒に中央総決起集会に参加し、デモ行進を行ってきました。

私たちの要請書を手渡しました。

夏の安全パトロール

８月４日午後1時30分より長野労働基準監督署指導同行のもと木建安全対策委員会（中山組合長＝会長）、組合の住宅・安全対策部会の15名が合同で4班を作り、市内の建築中の木造住宅を中心に夏季安全パトロールを行いました。

今回のパトロールでは7月1日に施行された足場の墜落防止措置の強化がきちんと実施されているか。熱中症の対策はできているか。という点を前回のパトロールで指摘が多かった事業所の現場を中心に巡回を行いました。足場の改正については現場代理人も知らなかったというケースが多く今後の周知方法に課題が残りました。熱中症については職人さんの意識も高く、水分や塩分補給の対策もできているようでした。

組合員の皆様におかれましてはまだまだ厳しい暑さが続きますので体調管理にご注意下さい。

基準どうりに足場が組立てられている現場はまだまだ少ない。

熱中症に注意しよう！炎天下での長時間労働を避け休憩時間の確保を。塩分･水分の補給も十分に

古牧支部見事優勝！

青年部主催支部対抗

第5回ソフトバレーボール大会

大変暑い１日となりましたが大勢のご参加ありがとうございました。

今年で5回目の開催となる青年部主催の支部対抗ソフトバレーボール大会が7月12日（日）に長野市豊野体育館にて開催され、88名の組合員参加者のほか、全労済、労金からも5名の来賓チームが参加し、計18チームでリーグ戦を戦い順位を競い合いました。

試合結果は古牧支部と川田支部が全試合を勝ち抜きましたが、得失点差により古牧支部が優勝を収め、川田支部は準優勝となりました。続けて3位に犀南支部が入賞となりました。普段は交流の少ない他支部ともスポーツを通じて楽しく交流を深めることができました。大会の後は、懇親会を居酒屋バールにて行い、試合を振り返りながらおいしいお酒をいただきました。

仲間づくり実行委員会と支部開催行事の紹介

川端支部

川端支部では7月26日に牟礼の「天狗の館」にて健康づくり教室と青年部層会議が開催されました。同施設の大広間で「腰痛予防について」をテーマに健康づくり事業団より講師を招き、体の歪みを矯正するストレッチ体操などが実践形式で行われました。その後、青年部層会議では青年部事業の報告とイベント参加や、組織拡大の協力について呼びかけがありました。会議終了後には屋外で支部員とその奥さんや子供をはじめ、支部の枠を超えた他支部の青年部長なども招待し、82名の仲間でバーベキュー大会が行われました。子供向けにスイカ割りも行われ大勢の子供達が列を作るほど大好評でした。バーベキュー大会の後はゆっくり温泉に入ったり、子供達は会場のすぐ隣にある、おもしろ自転車やスライダーなどで遊び、親子とも大変楽しい1日になりました。

小川支部

同日、小川支部では仲間づくり実行委員会を兼ねた支部親睦イベントのマレットゴルフ大会と懇親会が行われました。

マレットゴルフ大会では日差しが強く、汗ばむ陽気となりましたが、皆さんそれぞれ熱中症に注意しながら、いくつかのグループに分かれて全18ホールをまわり、スコアを競いました。

今年見事優勝を収めたのは宮下守さんでした。おめでとうございました。マレットゴルフ大会の後は会場を「こくや食堂」に移し、仲間づくり実行委員会が開催されました。執行部の丸山書記長よりテキストを使いながら組合制度の勉強をしたり、未加入者紹介カードを活用して身の回りの未加入者情報提供の呼びかけがありました。会議後は皆で焼肉を囲いながら支部員さんの家族も参加し、楽しくお酒を飲み交わしました。

秋の拡大月間目前！未加入者への一声運動の継続を。未加入者はあなたの一声を待っています。

一般社団法人「全建総連リフォーム協会（全リ協）」を設立

国土交通省は、今後の拡大が見込まれるリフォーム市場において、消費者が安心してリフォームを任せられる適正な事業者の確保を目的として、昨年９月に「住宅リフォーム事業者団体登録制度」を創設したことから、仲間が職域とするリフォーム市場が大手事業者に奪われかねないことを懸念し、全建総連では同制度に対応する「一般社団法人全建総連リフォーム協会」（略称、全リ協）を4月に設立しました。

■設立にいたった経緯

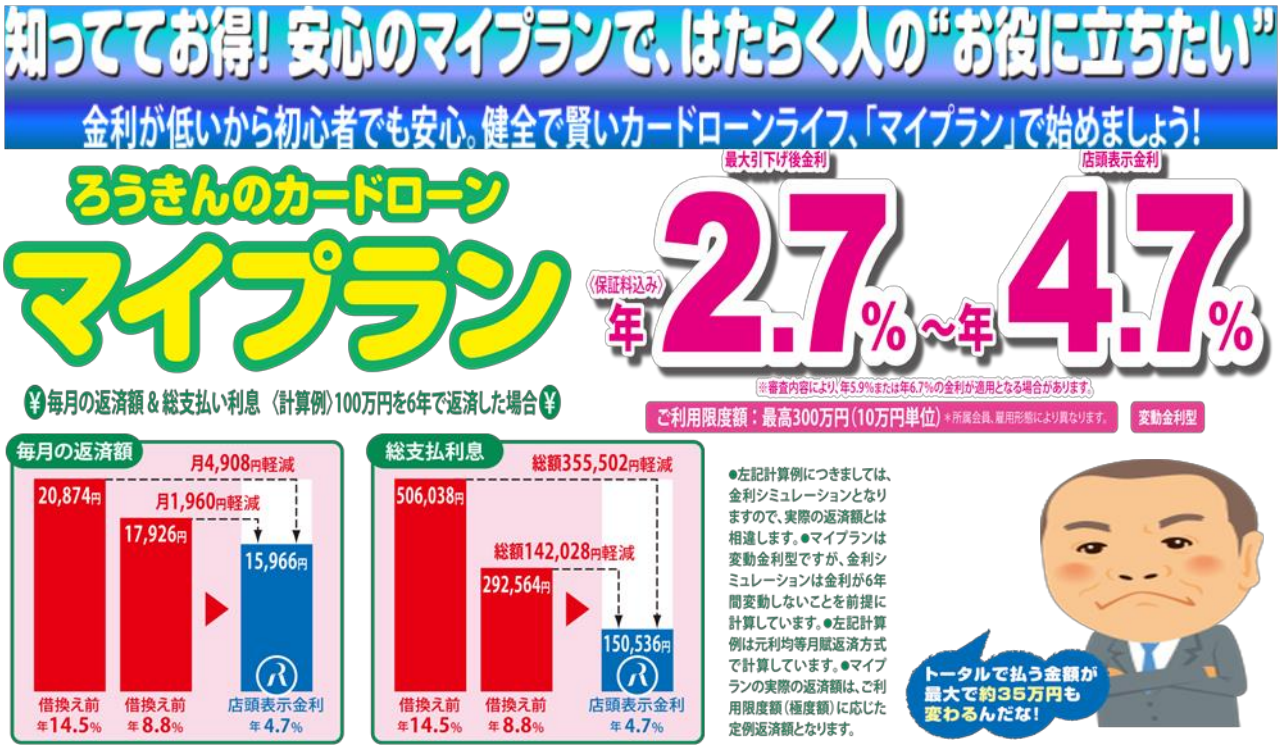
同制度は、リフォーム事業者を会員とする団体を国交省が認定し、団体による会員への研修や指導を通じて、法令遵守や技術向上等の適正化を図るとしていますが、国交省から団体の認定を受けるためには国交省が定める一定の要件をクリアしなければならず、大手事業者が加入する団体にとって有利で、地域の小零細事業者が大手事業者に根こそぎリフォーム工事の職域を奪われる危険があります。

制度が社会的に認知されると消費者がリフォームを依頼する際に事業者を選ぶ１つの基準とされ、事業者の実質的な選別につながります。情報発信力（存在アピール）に弱点を持つ我々地域の小零細事業者がさらに厳しい立場に追い込まれることになります。こうした情勢に対し、我々の上部団体である全建総連が仲間のリフォーム工事を守るために、リフォーム事業者団体登録制度に対応する団体として全リ協を４月に設立しました。組合員さんが同団体に入会するには一定の要件と年会費１万円が必要になりますが、加入することで以下のメリットを受ける事ができます。

■加入メリットは大きく分けて４つ

①消費者とのトラブル、クレーマーから不当な要求を受けないための業務マナーや的確な見積り、契約、適切な工事、技術力向上について定期的に学習し、経営力強化、技術向上を図れる。
②リフォームに関する様々な情報を団体より受けられ仕事に役立てられる。
③団体の発展により、様々な会員特典の可能性が広がる。
④全リ協がリフォーム事業団体登録制度の認定団体となった際には、認定団体の会員として消費者に営業等でＰＲできる。

会員となるための要件等の詳細については組合にお問い合わせ下さい。



住宅ローン・カーローンなど生活資金のことならお気軽にろうきんへご相談下さい。

組合健康診断ただいま予約受付中

ただいま、９月に行われる組合健康診断を受付中です。早い時間帯はすでに埋まってきておりますので、ご予約はお早めにお願いします。受診を希望される方は、①組合窓口直接申込み、②FAX 予約申込み（詳細は８月の組合費等請求書に同封の申込書を参照）のいずれかでお申し込み下さい。この機会にご自身の健康状態を確認しましょう。

受診料一覧

総合健診コース（特定健診項目を含む）	長建国保加入者本人とその家族	2,000円（1人）
	長建国保未加入者	13,930円（1人）
特定健診コース（40歳～74歳が対象）	長建国保加入者本人とその家族	1,000円（1人）
	長建国保未加入者	5,880円（1人）
オプション	前立腺がん（被保険者でH27.4.1現在50歳以上）	700円（1人）
	前立腺がん（上記以外の方）	1,700円（1人）
	石綿健診（総合コースと一緒に受診）	1,030円（1人）
	石綿健診（特定健診コースと一緒に受診）	3,080円（1人）
	石綿健診のみ	3,080円（1人）
	骨健診（長建国保加入者本人とその家族）	0円（1人）
	骨健診（長建国保未加入者）	1,290円（1人）

実施日	場所
9/10（木）	長野県健康づくり事業団
9/11（金）	若里市民文化ホール
9/14（月）	組合会館
9/15（火）	戸隠農村環境改善センター
9/16（水）	組合会館

※各日とも9:00、10:00からお選び頂きます。

必ずご確認下さい！！

※トラブル防止のためTEL予約は一切受付け出来ません。

※同年度内に組合健診をすでに受診している方や、人間ドックの補助金を受給している方、他病院受診の人間ドックを受診されている方は**全額自己負担**となりますのでご注意下さい。

事業所にお勤めの方ご協力をお願いします！！

事業所にお勤めの４０歳以上の従業員の皆さんは、事業所が実施した健診（事業主健診）の結果を組合にお持ち頂くと特定健診を受けたとみなされます。提出して頂いた皆さんに５００円分クオカードを進呈します。

中山組合長のちょっとよろしいですか？

梅雨が明けてから、毎日猛暑日が続いております。仕事中、あるいは自宅内に於いても熱中症にかかってしまう大変な暑さです。対策・対処をしっかりして頂きたいと思います。

さて、7月15日に建設労連主催の労働幹部学校が松本市に於いて開催されました。ご参加頂いた方におかれましては、大変ご苦労様でした。その内容の中で、芝浦工業大学教授の蟹澤宏剛先生による講演がありました。テーマが「二〇三〇年の建設業の展望と課題について」ということで、ここで抜粋ではありますが、ご紹介したいと思います。

『職人になることが憧れであるには（若者がこの産業に入ってくるには）・・・』

○夏は朝6時から15時まで仕事を終え16時には帰宅

○夕飯までは、子供と遊ぶ（釣り、ナイター観戦、地域ボランティア）

○雨が降ったら有給休暇

このような業界の願望的なスタイルを提案されました。今、建設技能者が足りない、少ないと言われている中、将来予測は色々言われていますが、10年後には90万人の新規入職者に加え20万人の女性技能者が必要との事です。また、高齢化が進み、２０１０年から２０３０年にかけて66％減少する見込です。大工職をはじめ全ての職種で若年技能者不足です。原因として、他産業と比較し「賃金」が低いという事。また「休日」が少ない。「３Ｋ（きつい、危険、きたない）」問題等が考えられます。また、自分の子供に継がせるか？」という調査を、全ての職層の方にしたところ、「いいえ」と答えた方達が65％から90％もいます。前記の3項目の通り、建設業界に魅力がないのではと思われます。これからは仕事に対する能力評価基準の明確な目標として技能レベルアップ（資格取得＝賃金アップ）、自己の意識改革＝〇〇職人からの脱皮等である、との講演内容でした。その他に第４分科会では各単組が独自で実施している組合サービスについて、報告がありました。リフォーム補助（組合員施工対象）として、施主に商品券を贈呈、②在籍35年以上の組合員に金一封を贈呈、③組合員に組合の顧問弁護士による無料法律相談会を実施、④エネオスガソリンカード割引の実施等々がありました。当組合としても、組合員の皆さんよりご要望がありましたら、その内容を汲み上げていきたいと考えておりますので、ぜひご意見、ご要望等をお聞かせ下さい。

7月の新規加入者紹介

吉原　綾子	更北真島二	下川　崇浩	川田脇嶋班
大川原栄志	南部　五班	松原　敏文	西南松田班
工藤　翔太	南部大豆島一	山城　清志	西南松田班
北村　直樹	綿内　四班	長沼　宏倫	非支部
五明　武文	古牧　二班		

※平成27年7月末日現在

若い力を組合へ。みなさんも仲間づくり行動への積極的なご参加をお願いします。